

佐渡の國鬼太鼓座～鼓童～そして

に に ん あ ん ぎ や

唄と太鼓の「二人行脚」

2025年 14:00 開演 (13:30 開場)

3月9日(日)

京都府中丹文化会館

京都府綾部市里町久田 21-20

《出演》 藤本吉利 藤本容子

《ゲスト》

marron aka dubmarronics

はばたき丹の国 2025

40年の軌跡

「佐渡の國 鬼太鼓座」で出逢い、鼓童を歩み、

演奏者として共に生きてきた。

様々な時、場所で出会った音の数々を、深く身に刻みながら、共に重ねた人生と芸の道行き、その響きの妙をお楽しみ下さい。



Photo:岡本隆史

チケット (全席自由)

一般 (高校生以上) 2,000 円

子ども (中学生以下) 1,000 円

*未就学児無料

*座席が必要な場合は子ども料金

「京都府中丹文化会館公演・発表活動応援プラン」

主催：唄と太鼓の「二人行脚」～40年の軌跡～ 実行委員会

後援：綾部市 京丹波町 綾部市観光協会

(公財)京都府中丹文化事業団 (株)エフエムあやべ

(株)あやべ市民新聞社 京都府太鼓連合会

舞鶴和太鼓連盟 綾部市太鼓連合会 和知太鼓保存会

お問い合わせ

唄と太鼓の「二人行脚」

～40年の軌跡～

実行委員会

上田裕文：090-8755-4997

佐渡の古謡を始め、日本の民の唄、太鼓演奏、自前の唄やトークのひとつとき。
そして今日は、普段はお見せない二人のまさか!の側面もご披露いたします。
どうぞ、お楽しみに。

藤本吉利

1972年「佐渡の國鬼太鼓座」に入座、1981年「鼓童」創設メンバー。
これまで数々の舞台に立ち、「大太鼓」や「屋台囃子」といった舞台のクライマックスを飾った鼓童の最年長。
1998年に「岩崎鬼剣舞」より習得の証である「印可之証」を受け、「岩崎伝佐渡鬼剣舞」の庭元を務める。近年はゲスト出演や研修生の指導、ワークショップ講師、藤本容子との唄と太鼓の「二人行脚」など、幅広い活動を行っている。
「鼓童」の名前の由来同様、永遠に太鼓の「童」でありたいと願う太鼓大好き人間。
2012年、鼓童名誉団員に選定。
2012年度文化庁文化交流使として中国を訪問。2018年に太鼓歴50周年を迎え、記念著書「藤本吉利 たいこわらべ五十年」を出版した。



藤本容子

1976年「佐渡の國鬼太鼓座」に入座、1981年「鼓童」創設メンバー。
3年間舞台を務めた後、機関誌編集と研修生指導に携わる。
1989年より舞台活動を再開。鼓童の舞台や小編成に参加。ソロ活動、研修生指導、また藤本吉利との「二人行脚」の活動を展開。1998年唄と声のワークショップ「Voice Circle」を立ち上げ日本や海外で、唄・声の命の素晴らしさを伝えている。
2012年、鼓童名誉団員に選定。近年は、吉利の郷里・京都府京丹波町の近隣の太鼓仲間の唄指導や、府内学校訪問など、地域貢献の喜びと共に活動を展開中。
2008年ソロアルバム第一弾「morisa komorisa」、2014年第二弾「やまず めぐるも」、2020年には鼓童との共演アルバム「佐渡もの語り～ゆめのうつつ～」を発表。



marron aka dubmarronics ※スペシャルゲスト

1969年滋賀県野洲町生まれ。12歳の頃よりギターを始める。
ジャンルにとらわれることなく、さまざまな音楽を独自のフィルターでアウトプットする音楽家。
爆笑の先に何かあると信じるスマイリーな音楽自由人。marron aka dubmarronics 名義のソロでは、アンビエントをベースとした独自の手法によるギターエレクトロニカの創始者として、世界各地のミュージシャンより支持を得ている。



「はばたき丹の国2025」

藤本吉利

綾部市太鼓連合会

和知太鼓保存会

で構成された和太鼓ユニット

チケット予約は下記アドレスまで

40th.nininangya@gmail.com

※40th.nininangya@gmail.comからの受信設定をお願いします
※送信後3日以内に返信が無い場合は実行委員会にお問い合わせ下さい

中丹文化会館、和知太鼓保存会でも
取り扱っております。



送迎バス運行します

JR綾部駅南口発(13:00/13:30)

中丹文化会館前発(終演後アナウンスします)